

## 事業実績報告書

様式 2  
(2022年度)

※この報告書は、なごや環境大学のウェブサイト上に記録として掲載されます。

講座番号	B-64	講座名	社会と土木の「話の泉」
記載日	2023/3/29	団体名・企業名	CE技術の会

### 〈講座全体の概要〉(300字程度)

生活環境への影響が大きい分野での情報を提供し、参加者のスキルアップに繋がるとともに皆で意見交換できる場としての役割も果たした。私達が生活する中で、近年多発する自然災害への対応はとても重要なことと認識して、今回は「備え」をテーマとした講座とし、その特徴は以下の通り。第1回目は、災害時に開設する避難所の運営について、地域の特徴を活かした運営マニュアルの作成について学んだ。第2回目は、自然及び社会環境の変遷が進む中での東南海地震という巨大地震への効果的対策について理解を深めた。第3回目は、最近の降雨量や河川流量の増大から、持続可能で安全で美しく、生物にも優しい環境と調和した川づくりに向けて、流域治水といった新たな施策も含めて解説いただいた。



※写真1の説明

2023/1/25 熱心に聴講している受講者

※写真2の説明

2023/3/22 熱心に聴講している受講者

### 〈企画・運営者の声(感想)〉(350字程度)

今年もコロナ感染症の影響を受けての開催となった。特に一回目は休日に開催としたこともあって、参加者は限定的であった。しかしながら、第1回目のテーマは非日常時での行動であり、住民と行政との連携が必須となることから、その運営手法はとても重要であることが確認できた。2回目は、巨大地震に対する効果的な対策の難しさも認識した上で、その備えや行動を考える機会を提供する意図であった。最近テレビでの放映もあり、時期を得たものと思う。3回目は、地球温暖化の影響とも思われる降雨量の増加と、それに伴う河川流量の増大による自然災害への最近の河川対策としての流域治水や持続可能で環境と調和した川づくりについて理解が深まった。いずれの講座も受講者からは良い評価を得られたと思っている。反省点はPRの方法を再考すべきと思

### 〈受講者の声(実感した反応及びアンケートより)〉(3~5点、計350字程度)

- ・避難所を“運営する側”マニュアルの必要性を知ることができました。
- ・エネルギー問題と食糧問題が政治とも絡んでいる事実を真剣に議論すべき時代だと改めて認識できました。
- ・地震動の推定についての内容が大変興味深いです。
- ・内容が非常にわかりやすく、興味深く受講させていただきました。
- ・自然環境の保持の研究が進んでいることに驚きました。